

ティーンズ会議の参加者を募集

「ティーンズ会議」は、若い世代の意見やアイデアをまちづくりに生かすための場です。

令和7年度は、中学生をメンバーに開催します。

東京藝術大学と協力し、アートの視点から楽しく意見を交わすワークショップを開催します。

対象・定員 市内在住の中学生 15名程度

応募締切 6月30日(月)まで

応募方法 市ホームページの申込フォームから

参加特典 参加者には図書カードをプレゼント

第1回 オリエンテーション

7月21日(月・祝)／13時～16時／市民交流センターtette

研修視察 東京藝術大学・美術館等を視察

8月3日(日)／終日／東京藝術大学ほか

第2回 グループワーク

9月15日(月・祝)／13時～16時／市民交流センターtette

第3回 グループワーク

9月21日(日)／13時～16時／風流のはじめ館

第4回 発表会

10月5日(日)／13時～16時／市民交流センターtette

お問い合わせ 須賀川市企画政策課
電話:0248-88-9111
メール:kikaku@city.sukagawa.fukushima.jp



TOKYO
GEIDAI

ティーンズ会議 x 東京藝大

ティーンズ会議を開催します。

会議には「何かを決める会議」と「何かを決めない会議」があります。本ティーンズ会議は「何かを決めない会議」です。

会議には方法があります。本ティーンズ会議ではアートの方法を用います。

会議には必ず参加を呼びかける人がいます。本ティーンズ会議は須賀川市と東京藝大が共同で呼びかけ開催します。

テーマ:かいじゅうの目 -テグスとチャック-

テグスとチャック!? 何それ? ~“仕組みを見せること“

須賀川には「かいじゅう」がいて「特撮」があります。特撮のかいじゅうはチャックを開けると人が出てくることをみんな知っています。そして昔の特撮フィルムで空を飛ぼうとすると飛行機もかいじゅうもテグスでぶら下がっていました。これも子供たちは知っていました。今のCG技術があればテグスとチャックは必要ないよね。するとこのテグスとチャックは意図的なのかしら?

日本の古いお芝居の歌舞伎には黒子といういないはずの人が現れます。役者さんの衣装を変えたり持ち上げたり。黒子は仕組みや舞台裏で起こることを見せます。お客は黒子を見ないふりをしていますが、時に黒子の技術を褒めて感心したりします。芸術だけではなく社会の中にもこんなやり方があるかも知れないね。

ティーンズ会議には東京藝大版画研究室が参加します。みなさんご存知の亜欧堂田善。田善が多く残した銅版画も仕組みの見える芸術でした。だって描かれた人物も風景もみな線でできているのが見えてしまうのですから。

テグスとチャックはティーンズ会議のヒントです。例えば学校、街やお店、tetteとか、そこでは仕組みを見せることと見せないことが意図的にも何気なくなされているはず。さあ!テグスとチャックで芸大生と楽しくおしゃべりしてみよう。

東京藝術大学版画研究室より